

令和7年度事業報告書

1 概要

令和7年度の当機構の業務は、オンライン方式の活用等の工夫により、概ね年度当初に計画していた調査研究、表彰事業、講演会開催等の事業を実施することができた。その概要は以下のとおりである。

- (1) 国、地方公共団体からの受託調査については、地方都市における再開発手法の合理化等に関する検討業務等を受託し、オンライン会議等を活用しつつ、実施した。
- (2) 国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。
- (3) 当機構が主催する「土地活用モデル大賞」については、現地調査を実施するとともに、オンライン方式による双方向のヒアリング等により、国土交通大臣賞等の選定を行った。
- (4) 当機構が事務局業務を担っている都市地下空間活用研究会（地下研）とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）については、会員メンバーと共に調査研究活動や講演会、見学会を実施した。

2 事業の実施状況

(1) 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(イ) 理事会

- ① 第36回理事会 令和7年6月5日（木）
於：（一財）都市みらい推進機構 会議室
議案
 - ・令和6年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
 - ・令和6年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
 - ・理事の推薦について
 - ・第17回定時評議員会の招集について報告事項
 - ・職務執行状況報告について
 - ・財産の運用状況について
 - ・賛助会員の状況について
- ② 第37回理事会 令和7年6月20日（金）（書面決議）
議案
 - ・理事長の選定について
- ③ 第38回理事会 令和8年3月27日（金）
於：（一財）都市みらい推進機構 会議室

- 議案 ・ 令和 8 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- 報告事項 ・ 職務執行状況報告について

(ロ) 評議員会

① 第 17 回定時評議員会 令和 7 年 6 月 20 日（金）

於：（一社）国際建設技術協会 会議室

- 議案 ・ 令和 6 年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
- ・ 令和 6 年度公益目的支出計画実施報告書（案）について
- ・ 理事の選任について
- 報告事項 ・ 令和 7 年度事業計画及び収支予算について
- ・ 財産の運用状況について
- ・ 賛助会員の状況について

(2) まちづくり情報交流活動

(イ) 「先進的なまちづくり事例のご紹介」ページの運営

先進的なまちづくり事例等の情報を全国に提供するため、当機構のホームページに公民連携、柔軟な市街地整備、エリアマネジメントなどをキーワードとして全国で展開されている先進的なまちづくり事例等を紹介するページを設けているが、昨年度までに累計 288 件を紹介した。

- ・ 「多様なまちづくり事例編」 21 件
- ・ 「まち交大賞編」 111 件
- ・ 「コンパクトなまちづくり大賞編」 12 件
- ・ 「先進的なまちづくり大賞編」 5 件
- ・ 「まちづくりアワード編」実績部門 12 件
- 構想・計画部門 6 件
- ・ 「土地活用モデル大賞編」 121 件

(ロ) 「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報を提供するため平成 16 年に開設した「まち交ネット」において、「都市再生整備計画」の検索システムに加え、全国の各都市で策定が進められている「立地適正化計画」の情報に関する検索システムを付加し、随時更新している。

(3) 調査研究

(イ) 受託調査

国、地方公共団体等から調査等 6 件を受託し、実施した。

① 国からの受託調査（2 件）

- ・ 官民連携まちづくり施策のあり方に関する調査・検討業務
(国土交通省都市局まちづくり推進課)
- ・ 地方都市における再開発手法の合理化等に関する検討業務（その 2）
(国土交通省都市局市街地整備課)

②地方公共団体からの受託調査（1件）

- ・豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務（東京都江東区）

③民間からの受託調査等（3件）

- ・戸越公園駅北地区市街地再開発事業に係る特定業務代行候補者選定業務
（戸越公園駅北地区市街地再開発準備組合）
- ・富士見二丁目3番地区第一種市街地再開発事業に係る特定業務代行候補者選考業務
（富士見二丁目3番街区市街地再開発準備組合）
- ・まち再生出資事業に関する調査・分析業務（その1）
（（一財）民間都市開発推進機構との共同研究）

(ロ) 自主研究

- ① 立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業の推進に向け、継続して立地適正化計画策定や事業実施上の疑問点、課題等の実務的なノウハウの蓄積に努めた。
- ② 全国のまちづくり事例を収集・整理し、情報発信するため、継続して当機構のホームページにおける「先進的なまちづくり事例のご紹介」の充実に努めた。

(4) 表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

(イ) 第22回土地活用モデル大賞の表彰

主 催：（一財）都市みらい推進機構
後 援：国土交通省
表彰式：令和7年10月31日（金）
会 場：アルカディア市ヶ谷（霧島の間）

受賞プロジェクト：

<国土交通大臣賞>

- ・産官金連携による歴史的資源を活用した観光まちづくり（愛媛県大洲市）

<都市みらい推進機構理事長賞>

- ・旧広島市民球場跡地整備等事業（広島県広島市）
- ・大久保地区公共施設再生事業（千葉県習志野市）

<審査委員長賞>

- ・聖蹟桜ヶ丘北地区における河川区域と民有地の一体活用（東京都多摩市）
- ・ワイズマンスポーツベース紫波（プロサッカークラブと連携した運動公園機能向上）（岩手県紫波町）
- ・ココティすぎと（旧杉戸小学校跡地活用事業）（埼玉県杉戸町）

(ロ) まちづくりアワードへの支援

国土交通省において創設された表彰制度「まちづくりアワード」の協賛団体の代表として支援を行った。

(5) 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

(イ) 土地月間記念講演会

開催日：令和7年10月31日（金）

主催：（一財）都市みらい推進機構、（一財）土地総合研究所、（一財）土地情報センター、（一財）不動産適正取引推進機構、（公財）不動産流通推進センター

後援：国土交通省、（一財）民間都市開発推進機構、（一財）日本不動産研究所、（株）日本政策投資銀行

会場：アルカディア市ヶ谷（霧島の間）

① 状況報告

- ・「土地行政の最近の動きについて」

国土交通省不動産・建設経済局土地政策課 土地調整官 塚田 友美 氏

- ・令和7年度土地活用モデル大賞全受賞プロジェクトの概要説明

<国土交通大臣賞>

- ・産官金連携による歴史的資源を活用した観光まちづくり

（一社）キタ・マネジメント代表理事 高岡 公三 氏

<都市みらい推進機構理事長賞>

- ・旧広島市民球場跡地整備等事業

広島市都市整備局長 中西 賢也 氏

- ・大久保地区公共施設再生事業

習志野大久保未来プロジェクト(株) 代表取締役 平出 和也 氏

<審査委員長賞>

- ・聖蹟桜ヶ丘北地区における河川区域と民有地の一体活用

（株）東京建物住宅事業第二部 藪崎 拓海 氏

- ・ワイズマンスポーツベース紫波（プロサッカークラブと連携した運動公園機能向上）

紫波町地域づくり課公民連携係長 高橋 竜介 氏

- ・ココティすぎと（旧杉戸小学校跡地活用事業）

杉戸町市街地整備推進室 主査 吉岡 崇 氏

② 講演

- ・「コーポラティブ方式でつながる人とまち」

～千代田区神田地域での取り組みから～

NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事 杉山 昇 氏

- ・「KIBOTCHAスマートエコビレッジ構想～自走した街を目指して～

貴凜庁株式会社 取締役 近藤 ナオ 氏

③ パネルディスカッション

コーディネーター：岸井 隆幸 氏（（一財）計量計画研究所代表理事）

パネリスト：塚田 友美 氏、杉山 昇 氏、近藤 ナオ 氏

（フロアから本年度受賞プロジェクト関係者）

(ロ) 令和7年度都市みらい推進機構調査研究報告会及び講演会

開催日：令和7年9月26日（金）（オンライン開催）

① 報告会

- 1) 令和6年度受託調査・自主研究の概要
- 2) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議の活動と展望
- 3) 都市再開発法第109条の2の活用促進に向けた検討

② 講演会

- 1) 「まちづくりに関する最近の話題」
国土交通省都市局まちづくり推進課国際競争力推進官
(併任) 官民連携推進室長 太田 裕之 氏
- 2) 「流域治水政策とまちづくり」
千葉大学大学院園芸学研究院教授 秋田 典子 氏

(6) まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような団体の活動を支援した。

(イ) コンパクトなまちづくり推進協議会

① 第8回定期総会

開催日：令和7年7月29日(火)
会 場：アルカディア市ヶ谷

② まちづくり講演会

- ・「立地適正化計画制度に関する最近の話題」
国土交通省都市局都市計画課都市機能誘導調整室
交通計画係長 田中 優希 氏
- ・「都市再生整備計画関連事業に関する最近の話題」
国土交通省都市局市街地整備課企画係長 松山 拓斗 氏
- ・「まちなかの魅力を向上させるための仕掛け」
筑波大学システム情報系社会工学域教授 藤井さやか 氏

③ 現地研修会(福島県須賀川市)

開催日：令和7年11月6日(木)～7日(金)
会 場：ホテル虎屋

1) まちづくり講演会

- ・「コンパクト+『連携』とは」
弘前大学教育学部 特任教授 北原 啓司 氏

2) 都市再生整備計画関連事業講習会

- ・「都市再生整備計画関連事業に関する最近の話題」
国土交通省都市局市街地整備課企画専門官 松村 和樹 氏
- ・「東北地方における都市再生整備計画関連事業を活用したまちづくり」
国土交通省東北地方整備局建政部都市・住宅整備課長 清水 明彦 氏
- ・「未来ビジョンがもたらすもの ～官民連携でつなぐ・つむぐ～」
(株)テダソチマ代表取締役 大木 和彦 氏
須賀川市都市計画課主任技査兼都市整備係長 永山 美志 氏

3) 現地視察研修

須賀川市民交流センター(tette)、須賀川市役所、須賀川みらいラボ、風流のはじめ館、等躬の庭・等を巡り、様々な制度を活用した整備事例を視察した。(参加者29名)

④ 現地研修会(宇都宮市)

開催日：令和8年1月27日(火)～28日(水)

会場：ライトキューブ宇都宮

1) まちづくり講演会

- ・「LRTと持続可能なまちづくり」

宇都宮大学地域デザイン科学部 准教授

長田 哲平 氏

2) 立地適正化計画講習会

- ・「都市行政に関する最近の動きについて」

国土交通省都市局都市計画課施設計画調整官

奥田 謁夫 氏

- ・「関東におけるコンパクトなまちづくりの取り組み」

国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長

青山 琢人 氏

- ・「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）形成に向けたまちづくり

～ライトラインを基軸とした公共交通と一体となったまちづくりを中心に～

宇都宮市都市整備部NCC推進課長

大根田 厚史 氏

3) 現地視察研修

JR宇都宮駅西口周辺地区整備事業、JR宇都宮駅東口地区整備事業、
ライトライン車両基地、東部総合公園（アークタウン宇都宮）等を視察し
た。（参加者51名）

(ロ) 都市地下空間活用研究会（地下研）

① 総会・評議員会（オンライン開催）

開催日：令和7年6月18日（火）

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

「地下・まち一体デザイン～地下空間と近接開発との一体的な計画・整備・運営による地下空間とまちの相乗的な価値向上～」をテーマに継続して取り組んだ。地下空間と近接開発の接続部分の現状を把握することを目的に、令和7年度は「マスタープランに基づく公民連携による地下歩行者ネットワークの調査・視察」を活動内容とし、先行事例として札幌市を対象に取り上げた11月に現地調査を実施し、札幌市の知見を大阪市においてどのように展開し得るかについて議論を交わした。

2) 地下利活用検討分科会

「地下歩行者空間の整備・利活用の在り方に関する研究」をテーマに、地下空間のマネジメント(計画・運営)、横断利用(地上・地下)(官・民)、使い方、防災機能、リノベーションを視点として調査を進めた。令和7年11月にはACUUS国際会議2025ベオグラード、並びに途中の乗継都市に選んだイスタンブールにおいて地下空間やLRT、モビリティ拠点等の視察、関係団体へのヒアリングおよび意見交換を行った。

3) 都市開発との連携分科会

令和5年度から「ウォークブルな都市と地下空間の在り方」をテーマとし、事例を①地上をウォークブルにするために地下を活用する、②地下そのものをウォークブルにする、の2つの類型に分け、それぞれの役割・機能や工夫点の整理を行った。加えて③大規模ターミナルなどに見られる空間を複

合的、多層的に利用しウォークアブルにしようとする事例、更に④それぞれの事例で制度・組織の観点での再整理を実施し、報告書のとりまとめを行った。

4) 分科会活動成果報告会

令和7年7月の2日間、大阪において、上記3つの分科会が活動成果を報告し、会員相互で情報共有するとともに、交流を図る目的で、第2回分科会活動成果報告会を開催した。

5) 地下防災に関する情報提供

(一社)都市環境エネルギー協会が主催する中央区BCD・カーボンハーフ推進委員会、新宿区BCD・カーボンハーフ推進委員会に参加し、これまでの当研究会の調査研究をもとに地下空間の防災に関する知見を提供した。この他、(公社)土木学会地下空間研究委員会、(一財)エンジニアリング協会地下開発利用研究センターとの交流・連携を行った。

③ 国際交流活動

第19回ACUUS国際会議は2025年11月4日～7日にセルビア共和国の首都ベオグラードで「地下のモビリティと高い視点からの思考—都市地下空間の利用における新たな機会と課題—」をテーマに開催された。当該国際会議へはこれまで同様、岸井会長を団長として派遣団を結成し、論文発表、各種行事への参加を通じて、参加者の交流と知見の増進に協力した。

④ 情報化推進活動

ニューズレターを発行する会員への情報提供、マスコミなどの取材に対応する対外的なPR活動等を引き続き推進した。また、新規会員獲得を目的とする勧誘活動のために、パンフレットの大幅改訂の検討を行った。

⑤ 講演会等の開催

定例懇話会を2回、現地視察見学会を1回開催した。

⑥ 地下空間活用に関する研修会

令和7年5月、国土交通省のご協力を得て、当研究会が主催する「第5回地下空間活用に関する研修会」を開催した。地下空間活用の国の施策の動向、法制度の体系、具体的な事例等を内容とし、当日は会場参加20名、オンライン参加29名（うち自治体からは6名）が受講し、講師並びに事務局を合わせて64名の参加となった。

(ハ) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議(UIT)

① 総会・評議員会（オンライン開催）

開催日：令和7年6月26日（木）

② 技術研究発表会の開催

令和7年12月5日(金)にハイブリッド方式にて「第37回技術研究発表会」を開催した（テーマ「アーバンインフラ再考～未来に向けた安全・安心で持続可能なまちづくり～」）。国、地方公共団体、民間企業等から17編の論文および3編のプロジェクト・技術報告が発表された（うち3編の論文と1編のプ

ロジェクト・技術報告は共通セッションで発表された。)

参加者数は269名であった。また、発表会後に意見交換会を開催した。

③ 交流展示会の開催

令和7年12月5日(金)に、第32回交流展示会をオンライン上の特設サイトに掲載する形で開催した。地方公共団体、公益団体等7団体が展示を行った。

④ 都市基盤技術サイト「てくTechまちさんぽ」の管理・運営の実施

平成28年9月末から開設している「てくTechまちさんぽ」及び公式Facebookページでの情報発信を実施してきた。平成31年2月からは国土交通省及び参加各社の新しい取組みに関するプレスリリース等をトップページ・最新情報に掲載してきた。

⑤ 懇話会の開催

懇話会を1回開催した。

別紙 令和7年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。